

令和3年度（2021年度）学校推薦型選抜  
教育学部における検査方法の変更について

教育学部では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を適切に講じて入学者選抜を安全かつ確実に実施するために、面接試験ではグループディスカッションを取り止め、個人面接のみを行うこととしました。

1. 配点

個人面接の配点を600点として大学入学共通テストと合わせて1500点で合否判定を行います（『募集要項』28ページの「③配点」の【注】もご参照ください）。

変更後の配点

学部	課程・コース		大学入学共通テスト	面接		志望理由書	推薦書	調査書	合計
				個人面接	グループディスカッション				
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育コース	900	600					1500
		特別支援教育コース	900	600					1500

2. 個人面接の検査方法、評価等

- (1) 複数の面接委員により、当該コースへの関心、意欲、理解力及び自己表現力などを評価します。さらに、テーマを出題して（下記【注】参照）、そのテーマに対する理解力や自身の考え・意見の表現力、他者との関係における主体性や協調性、ならびに教育への意欲と関心などを評価します。

【注】テーマの出題について

『募集要項』では「グループディスカッションでは、出題されたテーマ・課題について、集団で討議を行い」（28ページ）としていましたが、グループディスカッションを取り止める代わりに、個人面接の中で、通常面接に続いて、グループディスカッションと同等のテーマを出題します。テーマ等は文書により提示し、考察時間を設けます（考察時間にメモを取ってもかまいません）。回答は口頭で行います。出題例は、以下をご参照ください。

出題例（あくまで例であり、実際の出題内容は変更の可能性があります）

- あなたは〇〇〇についてどのように考えますか
- このテーマについて討論をする場合、1で述べた意見に対しては、どのような質問が想定されますか。また、その質問に対してどのように答えますか。

- (2) 志望理由書、推薦書、調査書は面接の参考にします。